

年間授業計画

教科:国語 科目:現代文A 対象:第3学年M1組～S組 2単位 使用教科書:現代文A(東京書籍) 副教材:学習課題集、漢字演習

教科担当者:(M1組:播摩)(M2:播摩)(E組:播摩)(A組:葭田)(S組:葭田)

1年間の計画を確認した後押印

教科	教務	副校長	校長

	指導内容 【年間授業計画】	科目「現代文A」の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時 数
4月	随筆「さくらさくらさくら」	随筆の文章の特徴を理解し、筆者の思いを読み取る。	筆者の物の見方や感じ方を読み取る。	6
5月	評論「ミロのヴィーナス」	説明的文章を読み、論理的思考を育む。	評論を読み、筆者の主張を読み取る。	6
6月	小説「山月記」	漢文的文章に触れ、本文を整理し、読み取る。	近代の有名な教材を読み、自分の考えを深める。	8
7月	随筆「少女たちのヒロシマ」	筆者の意見を理解し、要約することができる。	筆者の物の見方や感じ方を読み取る。	8
9月	小説「こころ」	登場人物を確認し、その心情を読み取ることができる。	近代の有名な教材を読み、自分の考えを深める。	8
10月	小説「こころ」			8
11月	小説「みどりのゆび」	登場人物を確認し、その心情を読み取ることができる。	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。	8
12月	小説「真面目な二人」	登場人物を確認し、その心情を読み取ることができる。	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。	6
1月	小説「ナイン」	登場人物を確認し、その心情を読み取ることができる。	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。	6
2月	言語活動「高校生活を振り返る」	高校生活のまとめを文章やスピーチで表現することができる。	論理的な構成を工夫して、自分の考えを文章にまとめようとする姿勢を持つ。	4

年間授業計画

教科：(数学) 科目：(数学Ⅱ) 対象：(第 3 学年 M1組～ S組)

教科担当者：(M1組：西谷◎) (M2組：西谷◎) (E組：西谷◎) (A組：西谷◎) (S組：西谷◎)

1年間の計画を確認した後押印

教科	教務	副校長	校長

2単位

教科書 数学Ⅱ Standard(東京書籍) 問題集 WRITE数学Ⅱ+B(東京書籍)

指導内容 【年間授業計画】	科目数学Ⅱの具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
4月 (5) 指数関数と対数 指数法則 指数関数とそのグラフ	(5) 指数関数と対数関数 ・累乗や3乗根、4乗根の値を求める。 ・指数法則や累乗根の性質を利用して、乗法や除法の計算を行う。 ・基本的な指数方程式、指数不等式を解く。 ・基本的な指数関数のグラフをかき。 ・指数が有理数の範囲まで拡張されている数について、指数関係の特徴を踏まえて大小関係を求める。	指数法則や累乗根の計算ができる。 指数方程式、指数不等式を解くことができる。 条件に従って、指数関数のグラフを図示できる。 指数で表された数の大小関係がわかる。	6
5月 指数関数とそのグラフ 対数 対数の性質	・指数が有理数の範囲まで拡張されている数について、指数関係の特徴を踏まえて大小関係を求める。 ・対数の定義を理解し、底の変換公式を用いて対数の値を求める。 ・対数の基本的な性質を用いて、計算する。	条件に従って、指数関数のグラフを図示できる。 2つ以上の対数を用いた計算や底を変換できる。 対数の加法・減法ができる。	8
6月 対数関数のグラフ 常用対数	・基本的な対数関数のグラフをかき。 ・対数の大小関係を求める。 ・基本的な対数方程式、対数不等式を解く。 ・常用対数表を用いて、様々な数の常用対数を求める。	条件に従って、対数関数のグラフを図示できる。 グラフを用いて、対数の大小関係を判断することができる。 対数方程式、対数不等式を解くことができる。 常用対数を用いて、整数の桁数を求めることができる。	8
7月 (6) 微分法と積分法 平均変化率と微分係数 導関数 微分法の公式	(6) 微分法と積分法 ・簡単な整式で表された関数について、平均変化率や極限を利用して微分係数や導関数を求める。 ・公式や導関数の性質を利用して導関数を求めたり、微分係数を求める。	平均変化率と微分係数の定義を理解できる。 定義により導関数を求めることができる。 公式を利用して微分することができる。 関数の増減を調べて、最大値・最小値を求めることができる。	4
8月			0
9月 接線 関数の増減 関数の極大・極小 関数の最大・最小	・放物線上の点における接線の傾きや接線の方程式を求める。 ・2次や3次の関数について、増減や極値を調べたり、グラフの概形をかき。 ・区間が制限された最大値や最小値を求める。	接線の方程式を求めることができる。 増減表を作成できる。 増減表を利用し関数の値の変化を調べることができる。	8
10月 方程式・不等式の応用 不定積分 不定積分の計算	・具体的な事象の考察を微分の考え方をを用いる。 ・不定積分及び定積分の意味や微分との関係について理解し、2次までの関数の不定積分や定積分の値を求める。	方程式の実数解の個数を求めたり、不等式に応用できる。 微分との関係から、不定積分を求めることができる。 公式を利用し、不定積分が求められることができる。	5

	指導内容 【年間授業計画】	科目数学 I の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
11 月	不定積分の計算 定積分 定積分の性質 面積	<ul style="list-style-type: none"> 不定積分及び定積分の意味や微分との関係について理解し、2次までの関数の不定積分や定積分の値を求める。 放物線や直線で囲まれた部分の面積を求める。 	<p>公式を利用し、不定積分が求められることができる。</p> <p>定積分の計算ができる。</p> <p>定積分の性質を利用して、定積分の計算ができる。</p> <p>定積分を利用し、面積を求めることができる。</p>	8
12 月	(4) 三角関数 一般角 弧度法 三角関数	<p>(4) 三角関数</p> <ul style="list-style-type: none"> 角の範囲を一般角まで拡張する。 角の大きさを弧度法により表す。 弧度法を用いて、扇形の面積や周の長さを求める。 一般角の正弦・余弦・正接を求める。 	<p>360° を超えた角の動径を図示できる。</p> <p>度数法から弧度法、弧度法から度数法へ変換できる。</p>	6
1 月	三角関数の性質 三角関数のグラフ 三角関数を含む方程式、不等式 加法定理	<ul style="list-style-type: none"> 正弦、余弦、正接のうち、一つの値から相互関係の公式を活用して、残りの二つの値を求める。 三角関数の周期性やグラフを理解する。 三角関数を含む簡単な方程式、不等式の解を求める。 加法定理を用いて値を求める。 	<p>相互関係を利用し、三角関数を求めることができる。</p> <p>性質を利用し、様々な角度の三角関数を計算できる。</p> <p>三角関数のそれぞれのグラフを図示できる。</p> <p>条件から角度や角度の範囲を求めることができる。</p>	6
2 月	加法定理	<ul style="list-style-type: none"> 加法定理を用いて値を求める。 2倍角の公式を用いて値を求める。 三角関数を合成する。 	<p>正弦、余弦、正接の加法定理を利用できる。</p> <p>2倍角の公式を適切に利用できる。</p>	2
3 月				

2023年度(R5)

年間授業計画

東京都立蔵前工業高等学校全日制課程

科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	2単位	担当者名 鶴田典子・松本由香里・William Warner
対象クラス	3年 全科		
教科書 副教材等	COMETⅡ(数研出版)、ベーシックノートなど		

科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を育成する。 国際的な工業人として、情報や考えなどを本格的に理解・表現するための重要な文法力・単語力を養う。
-------	--

学期	月	授業内容	備考(評価の観点等)	時間
1 学 期	4	①イントロダクション ②Lesson7 Section1	授業方針と学習方法についての確認 ブロック体の大文字・小文字が正しく書けるか 辞書や単語集を使い意味を確認できるか。 5文型が理解できるか	10
	5	①Lesson7 Section2	主語・動詞を正しく理解し、文を書ける・読めるか。 目的語・補語を正しく理解し文を書けるか 現在形・過去形を正しく活用できるか。 現在完了が理解でき、書けるか。	
	6	①Lesson7 Section3 ②Lesson7 過去完了、復習	動名詞・現在分詞の理解が出来るか。 動名詞・現在分詞の簡単な文を正しく作れるか。 過去完了を用いた表現が理解出来るか。	14
	7	①Lesson8 Section1	小テスト及び定期考査にて評価。 SV(使役動詞)OCの文の構造を把握出来るか。	
2 学 期	9	①Lesson8 Section2、3	動名詞・現在分詞の理解が出来るか。 動名詞・現在分詞の簡単な文を正しく作れるか。 過去完了を用いた表現が理解出来るか。	14
	10	①Lesson8 使役動詞、復習 ②Express Your Own Opinion	小テスト及び定期考査にて評価。 自分の意見を英語を用いて表現できるか。 SV(使役動詞)OCの文の構造を把握出来るか。	
	11	①Lesson9 Section1、2、3 ②Lesson9 関係詞の継続用法	関係代名詞の継続用法を理解出来るか。 関係代名詞の文が正しく書けるか。	14
	12	①Lesson9 復習	現在分詞・過去分詞の理解が出来るか。 現在分詞・過去分詞を含む文が正しく書けるか。 小テスト及び定期考査にて評価。	
3 学 期	1	①Lesson10 Section1、2、3	関係副詞の文の構造を理解出来るか。 関係代名詞の文が正しく書けるか。	14
	2	①Lesson10 復習		
	3		定期考査・提出物・授業態度などの 総合評価	

年間授業計画

教科:(理科)科目:(物理基礎)3単位 対象:(第3学年機械科1組、機械科2組、電気科、建築科、設備工業科)

教科担当者:(機械科1組、機械科2組:林 元 ㊟、)(電気科、建築科、設備工業科:二井内 吉信 ㊟)

1年間の計画を確認した後押印

教科	教務	副校長	校長

使用教科書:「高校物理基礎 新訂版」実教出版

	指導内容 【年間授業計画】	物理基礎の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
4月	<p>I 運動の表し方 (ア) 物理量の測定と扱い方 身近な物理現象について、物理量の測定と表し方、分析の手法を理解すること。</p> <p>(イ) 運動の表し方 物体の運動の基本的な表し方について、直線運動を中心に理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 10 n を表すk (キロ) やm (ミリ) などの代表的な接頭語を使用できる。 物理量の単位は、基本単位を組み合わせることができる組立単位であることを知る。 定義に基づき速度を理解し、x - t グラフから、速度の大小及び正負を判断できる。 日常の事象を基に、直線上の合成速度、相対速度について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 公式を用いて計算することができる。 計算した値に対し、適切な単位で表すことができる。 グラフを用いて事象を表すことができる。また、グラフから必要な物理量を求めることができる。 	9
5月	<p>(ウ) 直線運動の加速度 物体が直線上を運動する場合の加速度を理解すること。</p> <p>(エ) 物体の落下運動 物体が落下する際の運動の特徴及び物体に働く力と運動の関係について理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> v - t グラフから速度の増減を認識し、加速度の大小及び正負を判断できる。 自由落下の運動の公式を用いて、1秒ごとの落下速度や距離が計算でき、空気中の落下における空気抵抗の影響について知る。 鉛直投射などを通して、重力加速度の向きは常に下向きであることについて知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 公式を用いて計算することができる。 計算した値に対し、適切な単位で表すことができる。 グラフを用いて事象を表すことができる。また、グラフから必要な物理量を求めることができる。 	10
6月	<p>II 様々な力とその働き (ア) 様々な力 物体に様々な力が働くことを理解すること。</p> <p>(イ) 力のつり合い 物体に働く力のつり合いを理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 重力、垂直抗力、張力、弾性力、浮力がどのような力であるかを知り、それぞれを図を用いて表現できる。また、重力や弾性力については、それぞれの大きさが計算できる。 力の合成、分解の作図ができる。また、力がつり合っている場合、力のベクトル和が0になることを理解する。 二つの力学台車による衝突実験などから、力が働くときには二つの物体が互いに力を及ぼし合っていることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 公式を用いて計算することができる。 計算した値に対し、適切な単位で表すことができる。 グラフを用いて事象を表すことができる。また、グラフから必要な物理量を求めることができる。 	12
7月	<p>様々な力について 滑車を用いた場合の力の働き方を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 摩擦力 (静止摩擦力・動摩擦力) 定滑車、動滑車 	<ul style="list-style-type: none"> 摩擦力の働き方をグラフで理解する。 静止摩擦係数、動摩擦係数をもとめて、摩擦力が計算できる。 滑車の両端に働く力が図示できる。 	10

	指導内容 【年間授業計画】	物理基礎の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
8月				0
9月	(ウ) 運動の法則 運動の三法則を理解すること。 III 力学的エネルギー (ア) 運動エネルギーと位置エネルギー 運動エネルギーと位置エネルギーについて、仕事と関連付けて理解すること。 (イ) 力学的エネルギーの保存 力学的エネルギー保存の法則を仕事と関連付けて理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> 慣性の法則に関連した現象を、日常生活から挙げることができる。 加速度の大きさは加えた力の大きさに比例し、物体の質量に反比例することを理解する。 仕事の定義を理解し、力の向きと物体の移動の向きが同じである場合や逆の場合、垂直の場合の仕事を計算できる。 単位時間当たりの仕事が仕事率であることを、単位を含めて理解する。 仕事をする能力をもった物体はエネルギーをもつことを理解し、エネルギーの変化量と仕事との関係について知り、運動エネルギーや重力による位置エネルギーを、公式を用いて計算できる。 力学的エネルギーは位置エネルギーと運動エネルギーの和であることについて理解する。 力学的エネルギーの保存(運動エネルギーと重力による位置エネルギー)に関する計算ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 公式を用いて計算することができる。 計算した値に対し、適切な単位で表すことができる。 グラフを用いて事象を表すことができる。また、グラフから必要な物理量を求めることができる。 	12
10月	IV 熱 (ア) 熱と温度 熱と温度について、原子や分子の熱運動という視点から理解すること。 (イ) 熱の利用 熱の移動及び熱と仕事の変換について理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> 絶対温度とセ氏温度との換算ができ、物質の三態が温度によって変化することを知る。 熱の出入りと温度変化の関係を理解し、比熱、熱容量、潜熱について知る。 熱に関する現象が不可逆変化であること、熱はエネルギーであり、仕事が熱に、熱の一部が仕事に移り変わることにについて知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 公式を用いて計算することができる。 計算した値に対し、適切な単位で表すことができる。 グラフを用いて事象を表すことができる。また、グラフから必要な物理量を求めることができる。 	12
11月	V 波 (ア) 波の性質 波の性質について、直線状に伝わる場合を中心に理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> $y-x$グラフで振幅や波長を読み取ることができ、進行する正弦波において、速さ・周期・振動数・波長の関係を知り、縦波と横波の違いについて理解する。 実験を通して波の独立性について理解し、三角波などの簡単な波の重ね合わせを作図できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 公式を用いて計算することができる。 計算した値に対し、適切な単位で表すことができる。 グラフを用いて事象を表すことができる。また、グラフから必要な物理量を求めることができる。 	12
12月	(イ) 音と振動 気柱の共鳴、弦の振動及び音波の性質を理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> 進行波と定常波の違いや、弦の定常波などから、定常波には腹と節があることを知る。 オシロスコープなどを用いて音の三要素を知り、大きさと振幅、高さや振動数の関係について理解する。また、共鳴や共振、うなりについて知る。 弦の振動や気柱による共鳴が定常波であり、弦や管の長さにより音の高さが変化することを知る。また、空気中の音の速さと温度との関係を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 公式を用いて計算することができる。 計算した値に対し、適切な単位で表すことができる。 グラフを用いて事象を表すことができる。また、グラフから必要な物理量を求めることができる。 	12

	指導内容 【年間授業計画】	物理基礎の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
1 月	VI 電気 (ア) 物質と電気抵抗 物質によって抵抗率が異なることを理解すること。	・具体的な物質の例から導体と不導体の違いについて理解し、抵抗値が物質の種類、抵抗の長さ、断面積に関係すること及び電流が自由電子の流れによることを知る。	・見えない物理現象を考察することができる。 ・予測と結果から、物理現象を適切な言葉で表現できる。	9
2 月	VII エネルギーとその利用 (ア) エネルギーとその利用 人類が利用可能な水力、化石燃料、原子力、太陽光などを源とするエネルギーの特性や利用などについて、物理学的な視点から理解すること。	・「原子力」については、関連して放射線及び原子力の利用とその安全性の問題にも触れること。	・放射線の性質、放射線の単位について理解する。	6
3 月				0

年間授業計画

教科:(公民)科目:(現代社会) 対象:(第3学年機械科1組~設備工業科) 2単位 教科書:最新現代社会(実教出版)

教科担当者:原島(機械科1組:㊟)(機械科2組:㊟)(電気科:㊟)(建築科:㊟)(設備工業科:㊟)

1年間の計画を確認した後押印

教科	教務	副校長	校長

	指導内容 【年間授業計画】	科目現代社会の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	時予 数定
4月	私たちの生きる社会	現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などについて理解させるとともに、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚させる。	「幸福、正義、公正」などの考え方が、現代社会の諸課題を考察するための基盤であることを説明できる。例えば、生命・情報・環境の問題では、時としてそれぞれの幸福の対立が生じることを理解し、その課題を調整する際に正義や公正の観点を踏まえて考察できる。	6
5月	現代の社会と人間	現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解させるとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察させる。	現代の青年期の意義と具体的な現象について理解する。青年期はモラトリアムと呼ばれ、社会的な義務や責任が猶予されていること、現代社会においてはこのモラトリアムが延長してきていることなどを、社会的な背景や自らの経験などから説明できる。また、防衛機制について、具体的な事例を挙げて説明できる。	8
6月	現代の社会と人間	個人の尊重を基礎として、国民の権利の保障、法の支配と法や規範の意義及び役割、司法制度の在り方について日本国憲法と関連させながら理解を深めさせるとともに、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察させ、他者と共に生きる倫理について自覚を深めさせる。	・日本国憲法に基づいて、基本的人権が永久不可侵の権利であることを理解し、明治憲法下における法律の留保規定と比較しながら、国家権力による人権不可侵の原則を説明できる。 ・法の支配とは、為政者による恣意的支配を排除し、合理的な議論に基づく統治を目指すものであることを理解し、法の支配と法治主義の違いを歴史的事実を踏まえて説明できる。 ・国民の権利を守り社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障が必要であることや、公正な裁判のためには司法権の独立が不可欠であることを説明できる。また、現行の司法制度改革における議論の内容と現状について、社会的背景を踏まえて説明できる。	8
7月	期末考査		一学期の内容がきちんと定着しているかどうかを確認する。	4

	指導内容 【年間授業計画】	科目現代社会の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	時予 数定
9月	現代の社会と人間	現代の経済社会の変容などに触れながら、市場経済の機能と限界、政府の役割と財政・租税、金融について理解を深めさせ、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。	<ul style="list-style-type: none"> 産業構造の変化や経済のグローバル化を通じて、戦後の資本主義経済がどのように変容してきたかについて、世界経済の動向を踏まえて説明できる。 市場における価格メカニズムについて、需要曲線と供給曲線のグラフを活用して説明できる。プライスリーダーや価格の下方硬直性などの言葉を使用して「市場の失敗」を理論的に説明できる。 ビルト・イン・スタビライザーやフィiscalポリシーなど、財政に関する理論を理解するとともに、日本の財政の現状について、財政健全化の必要性を踏まえて説明できる。 	8
10月	現代の社会と人間	現代の経済社会の変容などに触れながら、最新の市場に関する考察、市場経済の機能と限界、政府の役割と財政・租税、金融について理解を深めさせ、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察させる。また、雇用、労働問題、社会保障の諸問題などについて理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。	<ul style="list-style-type: none"> 現代における金融の自由化やグローバル市場の発展について、先進国経済の動向を踏まえて説明できる。また、日本の金融の特徴について、他の先進国と比較しながら説明できる。 現在の我が国において、景気浮揚を図るために政府が行う経済政策について、具体例を示して説明できる。 少子高齢社会における雇用・労働問題について、経済社会の動向を踏まえ、ワーク・ライフ・バランスやワーク・シェアリングなどの考え方にも言及して説明できる。 日本の社会保障制度が抱える様々な課題について理解する。特に、少子高齢化に伴う社会保障給付費の増大と現役世代による負担の拡大が避けられない中で、制度の持続可能性が大きな課題となっていることについて説明できる。 	8
11月	国際社会の動向と日本の果たす役割	グローバル化が進展する国際社会における政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献、経済における相互依存関係の深まり、地域的経済統合、南北問題など国際社会における貧困や格差について理解させ、国際平和、国際協力や国際協調を推進する上での国際的な組織の役割について認識させるとともに、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察させる。	<ul style="list-style-type: none"> 冷戦終結後の急速なグローバル化の進展について歴史的背景を踏まえて考察し、グローバル化のもたらす諸課題について説明できる。 人権に関する国際的な宣言や規約等の成立、国際法による国家主権の制限の意義、我が国固有の領土をめぐる問題に対する我が国の正当な立場と平和的解決の重要性などについて説明できる。 人権、国家主権、領土などに関する現在の国際的な課題と背景について理解するとともに、その解決に向けた国際的な取組について具体例を挙げて説明できる。 	6
12月	期末考査		二学期の内容がきちんと定着しているかどうかを確認する。	4

指導内容 【年間授業計画】	科目現代社会の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	時予 数定
1月 共に生きる社会をめざして	持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探究する活動を通して、現代社会に対する理解を深めさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深めさせる。	持続可能な社会の形成に主体的に参画する意欲をもち、現代社会の諸課題を多面的・多角的に考察し、課題を探究できる。例えば、「現役世代と将来世代の関係」に着目し、現役世代が物質的な豊かさや社会保障の充実などを求めることが将来世代の負担につながりかねないことを自分の言葉で表現できる。	6
2月 一年間のまとめ・レポート課題		一年間の学習活動を総括していく	2
3月			

年間授業計画

教科:(保健体育) 科目:(体育) 対象:(第3 学年 M1 組～ S 組)

教科担当者:(M1組:◎) (M2組:◎) (E組:◎) (A組:◎) (S組:◎)

単位数 3 教科書 最新高専 保健体育 大塚能楽店

1年間の計画を確認した後押印

教科	教務	副校長	校長

指導内容 【年間授業計画】	科目〇〇の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
<p>・体づくり運動 腕立て伏せ、腹筋、背筋、スクワット等の筋力とレーニングを継続的に行う。</p> <p>選択①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボール ・硬式テニス ・サッカー ・バドミントン 	<p>体作り運動を基本に運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。</p>	<p>評価は次の3点を総合的に判断する。</p> <p>①出席 ②態度・取り組み ③技術・技能、ルール等の理解度</p> <p>選択① 練習計画の立案、実行、反省、自己評価等が正しく行えるか。</p>	9
<p>・体づくり運動 腕立て伏せ、腹筋、背筋、スクワット等の筋力とレーニングを継続的に行う。</p> <p>選択①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボール ・硬式テニス ・サッカー ・バドミントン 	<p>体作り運動を基本に運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。</p>	<p>評価は次の3点を総合的に判断する。</p> <p>①出席 ②態度・取り組み ③技術・技能、ルール等の理解度</p> <p>選択① 練習計画の立案、実行、反省、自己評価等が正しく行えるか。</p>	9
<p>・体づくり運動 腕立て伏せ、腹筋、背筋、スクワット等の筋力とレーニングを継続的に行う。</p> <p>選択①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボール ・硬式テニス ・サッカー ・バドミントン 	<p>体作り運動を基本に運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。</p>	<p>評価は次の3点を総合的に判断する。</p> <p>①出席 ②態度・取り組み ③技術・技能、ルール等の理解度</p> <p>選択① 練習計画の立案、実行、反省、自己評価等が正しく行えるか。</p>	9
<p>・体づくり運動 腕立て伏せ、腹筋、背筋、スクワット等の筋力とレーニングを継続的に行う。</p> <p>・水泳 時間泳 (20分泳) 個人メドレー (100M)</p>	<p>体作り運動を基本に運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。</p>	<p>評価は次の3点を総合的に判断する。</p> <p>①出席 ②態度・取り組み ③技術・技能、ルール等の理解度</p> <p>水泳 様々な泳法で長い時間泳ぐことが出来るか。 効率的なフォームを習得し、自己のタイムを更新できる。</p>	8
8月			

	指導内容 【年間授業計画】	科目〇〇の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動 腕立て伏せ、腹筋、背筋、スクワット等の筋力とレーニングを継続的に行う。 ・水泳 時間泳 (20分泳) 個人メドレー (100M) 	体作り運動を基本に運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。	<p>評価は次の3点を総合的に判断する。</p> <p>①出席 ②態度・取り組み ③技術・技能、ルール等の理解度</p> <p>水泳 様々な泳法で長い時間泳ぐことが出来るか。 効率的なフォームを習得し、自己のタイムを更新できる。</p>	9
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動 腕立て伏せ、腹筋、背筋、スクワット等の筋力とレーニングを継続的に行う。 選択② ・バレーボール ・バドミントン ・ソフトボール 	体作り運動を基本に運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。	<p>評価は次の3点を総合的に判断する。</p> <p>①出席 ②態度・取り組み ③技術・技能、ルール等の理解度</p> <p>選択② 練習計画の立案、実行、反省、自己評価等が正しく行えるか。</p>	9
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動 腕立て伏せ、腹筋、背筋、スクワット等の筋力とレーニングを継続的に行う。 選択② ・バレーボール ・バドミントン ・ターゲットバードゴルフ ・ソフトボール 	体作り運動を基本に運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。	<p>評価は次の3点を総合的に判断する。</p> <p>①出席 ②態度・取り組み ③技術・技能、ルール等の理解度</p> <p>選択② 練習計画の立案、実行、反省、自己評価等が正しく行えるか。</p>	9
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動 腕立て伏せ、腹筋、背筋、スクワット等の筋力とレーニングを継続的に行う。 選択③ ・バスケットボール ・硬式テニス ・アルティメット ・バドミントン 	体作り運動を基本に運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。	<p>評価は次の3点を総合的に判断する。</p> <p>①出席 ②態度・取り組み ③技術・技能、ルール等の理解度</p> <p>選択③ 練習計画の立案、実行、反省、自己評価等が正しく行えるか。</p>	9

指導内容 【年間授業計画】	科目〇〇の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
<p>・体づくり運動 腕立て伏せ、腹筋、背筋、スクワット等の筋力とレーニングを継続的に行う。</p> <p>選択③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボール ・硬式テニス ・アルティメット ・バドミントン <p>1月</p>	<p>体作り運動を基本に運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。</p>	<p>評価は次の3点を総合的に判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①出席 ②態度・取り組み ③技術・技能、ルール等の理解度 <p>選択③</p> <p>練習計画の立案、実行、反省、自己評価等が正しく行えるか。</p>	8
2月			
3月			